

医学部ウォーカー

1面：医学研究科長・医学部長寄稿、医学部心理支援科学科が開設... 2面：弘前大学後援会が弘前大学に300万円贈呈... 3面：アミノ酸代謝産物GCN1による細胞増殖抑制機構の発見... 4面：優秀論文賞受賞... 5面：科学研究費補助金採択状況... 6面：オンライン授業導入... 7面：学生生活... 8面：教員よりWEB講義による授業を実施... 9面：大学院生より「若手教員、医師より」... 10面：研究室紹介... 11面：部活動紹介... 12面：青森あずまし温泉紀行/人事異動

題字 元弘前大学長 遠藤正彦氏筆

医学研究科長 寄稿

医学研究科全体での健康未来イノベーションセンターを介したCOI研究の発展と支援について

医学研究科長 廣田和美



産学官民連携研究拠点「健康未来イノベーションセンター」は、二〇一六年度文部科学省「地域科学技術実証拠点事業」に採択されて二〇一八年五月二十二日に開所式が行われました。同センターは、医学部敷地内にありますが、今までは全学の施設であり、医学研究科附属施設ではありませんでした。しかし、今年八月一日より医学研究科の附属施設として全学より移設されました。これにより、現在行われている革新的イノベーション創出プログラム「COI STREAM」事業を医学研究科全体で推進することが、より容易になったと言えます。

連データが収集されていることから、より厳密な管理とより迅速で詳細なデータ解析が必要となっており、医学研究科への移設にあたりデータ解析部門を新たに立ち上げました。また、現在共同研究講座に教員の派遣などを行ってコラボしている基礎講座としては社会医学講座、分子生体防御学講座、感染症生体防御学講座、臨床講座としては消化器血液内科学講座、産科婦人科学講座、麻酔科学講座があります。しかし、十四講座もある共同研究講座を六講座のみのコラボで共同研究を進展させることは難しく、同センターが医学研究科に移設された今こそ、全講座、つまり基礎講座も臨床講座からも少なくとも各々一講座ずつが各共同研究講座とコラボして共同研究を推進する必要があります。そうすることで、更なる研究の発展、ひいてはPost COI事業に向けた体制が出来上がると信じております。七月の教授会の後、中路センター長から各共同研究講座の説明をして頂きましたが、こ

の説明内容を元に、各講座で、是非とも前向きに共同研究講座とのコラボを考えた頂き、コラボ出来るような共同研究講座があれば、私や中路センター長、伊東副センター長まで御連絡下さい。こちらで仲介を行います。我々の悲願である「青森県の短命県返上」は、産学官民の共同なくしては達成できません。そのためにも、健康未来イノベーションセンターを大いに活用しようではありませんか。そして、短命県を脱出し、その波を全国に、そして世界に広げていくことを医学研究科全体で目指しましょう。ご協力の程宜しくお願い致します。

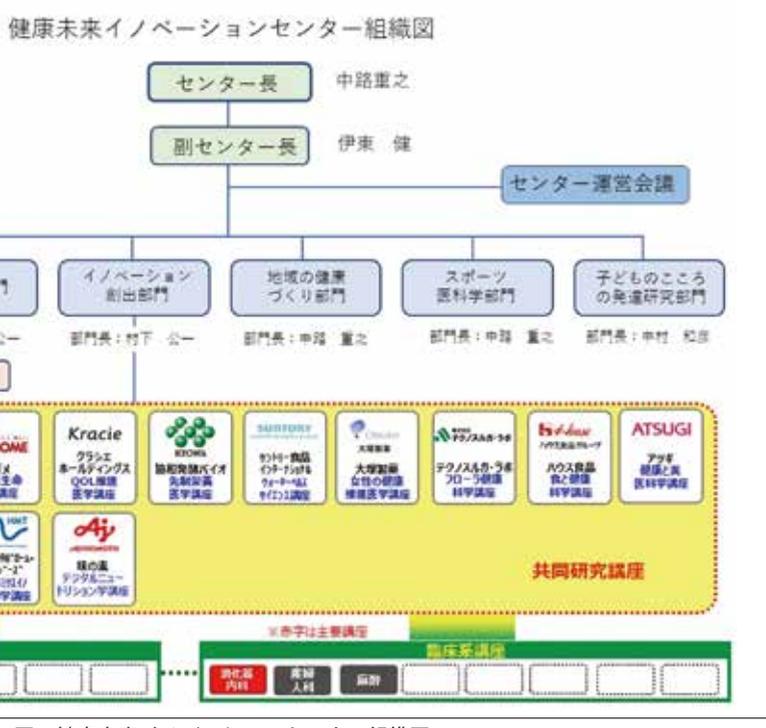


図. 健康未来イノベーションセンター組織図

令和二年四月一日に医療倫理学講座が開設されました。教授（兼任）一名、助教一名という小さな講座で

「医療倫理学講座」開設にあたって

弘前大学には、もともと教育学部に心理学科があり、これまで数多くの心理職の先生方を輩出してきました。しかしながら、平成二十七年に国が公認心理師を国家資格化したことにより、心理職は正式に看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士に続く「コメディカル」の一員に加えられることになりました。弘前大学は学部の改革において教

育学部に教職大学院を設置し、文部科学省の方針に沿うかたちで、いち早く医学部内に公認心理師を養成する学科の設置に取りかかり、今回の心理支援科学科の開設が実現しました。一学年の学生定員十名に対して、教官は私を含めて八名。文部科学省は、当初、教官十名配置を望んでいたらしく、それだけでも国の力の入れようが伝わってきます。

私は、秋田県大仙市の生まれで、弘前大学医学部の昭和六十三年卒です。卒業後は、神経精神医学講座に所属し、当時はマイナーであった「児童思春期の精神科臨床」に取り組みさせていただきました。そして、平成二十六年十月より、神経精神医学講座の中村和彦教授の推薦を受け、医学研究科附属子どもこころの発達研究センターに勤務しました。センターでは、弘前市教育委員会の協力を得て、弘前内の小中学校で心のサポートアンケートを実施しましたので、弘前市内の学校現場に入る機会が与

えられました。また、当時の医学研究科長の中路重之先生には、中南部地区連携推進協議会への参加を促され、インクルーシブ教育を中心として、中南部地区の教育委員会や学校現場にも関わる機会を与えていただきました。学校現場をのぞかせていただき、家庭の養育機能が低下した現代においては、地域における学校の役割の重要性にあらためて気づかされました。同時に、かつて講座マネージャーや病棟医長の経験から興味を抱いた「マネジメント」の重要性を強く意識させられました。

当面の課題は、学生たちの教育、指導、および大学院の設置になります。公認心理師の職場を青森県内につくっていく必要がありますので、弘前大学医学部附属病院内に公認心理師の居場所となる心理部門の設置を働きかけたいと考えております。最後になりますが、今後の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。



令和二年四月一日付で医学部心理支援科学科の学科長を拝命いたしました栗林理人（くりばやしみちと）と申します。この度、新設された心理支援科学科の学科長を任されることになり、期待と不安が入り混じりながらも、何とか責任を果たしたいと考えています。

医学部心理支援科学科が開設

心理支援科学科長 栗林理人

医療倫理学講座 教授 田坂定智

皆さんはどういう学問を想像されるでしょうか？ ウィキペディアによれば、「医療倫理学」といって、皆

（次ページへ続く）

(前ページより) 療倫理とは、臨床医学の実践および医学研究に価値観を適用する道徳原則の体系。一種の職業倫理であり、学問でもあり「とありませぬ。医療従事者が出会う倫理的な問題には様々なものがあります。一つは診療上の倫理的問題であり、終末期の治療方針や患者さんからの治療拒否などで悩んだ経験のある方も多いのではないのでしょうか。二つめは研究上の倫理的問題で、臨床研究の計画から実施まで様々な課題を取り扱います。また医薬品の適応外使用など、診療と研究の境界にある倫理的問題もありません。さらに公衆衛生上の倫理的問題も重要です。最近の例で言えば、新型コロナウイルスの感染拡大防止と個人の行動の自由との間でどう折り合いを付けるかといったことが議論になりました。このように医療倫理学が取り上げる問題は多岐にわたりますが、本講座は医学研究科倫理委員会の事務局を兼ねていることもあり、主に研究上の倫理的問題に取り組んでいます。

医学研究科倫理委員会では、治験や臨床研究法における特定臨床研究を除いた人を対象とした医学系研究に関して倫理審査を行っています。医学研究科や医学部附属病院のみならず、弘前大学の他学部や県内の医療機関から審査を依頼されることもあり、年間で四百件前後の審査を行っています。臨床研究を取り巻く環境は近年急速に変化しており、なかでも遺伝子解析を伴う研究が増加してきています。このため「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」とが統合され、今年度中に「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が策定される予定です。この統合に合わせてオンラインでの同意取得が可能になるなどの変更も検討されています。こうした指針の変更などについては、共通講習会を利用して皆さんにタイムリーに情報提供してまいります。他にも倫理審査申請のオンライン化など、臨床研究が円滑かつ安全に実施できるような環境を整備するべく努めています。

弘前大学後援会では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困窮した学生への支援として、「弘前大学基金」への寄付を行い、去る、令和二年六月三十日(火)、弘前大学事務局において、寄附金贈呈式を執り行いました。

贈呈式では、福田眞作弘前大学長をはじめ、吉澤篤理事(企画担当)、渡邊淳平理事(総務担当)、郡千寿子理事(教育担当)にご出席いただき、福田学長へ寄附金三百万円の目録を手渡ししました。

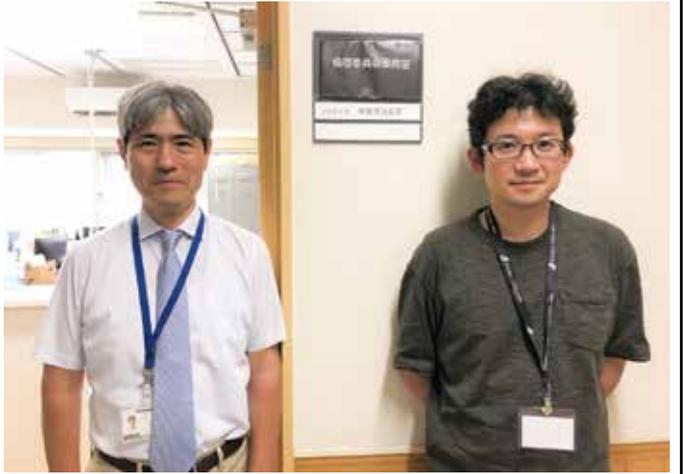
この寄附金は、学生の健康維持と経済的不安解消を目的として弘前大学生協文京店で六月五日(金)から実施中の「100円夕食」や、学生が経済的な理由により修学を断念することなく、安心

して学業に専念できるように「弘前大学修学支援基金」へ活用され、学生のために役立てられます。

福田眞作学長から感謝状が贈られるとともに、「学生のため多くの寄附をいただき、本当に嬉しく思っています。今回の寄附によりさらに支援の輪が広がることを期待している。」とお言葉をいただきました。

弘前大学後援会では、今回の寄附の他、今年度も各学部へ課外活動や就職支援などへの助成事業を行います。

本会の趣旨にご賛同いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 弘前大学後援会が 弘前大学基金へ寄附金 300万円 贈呈

弘前大学後援会長 石戸谷 忻一



## 弘前大学 後援会のご案内

会長 石戸谷 忻一

弘前大学後援会では、学生の学業、課外活動への助成、学生の進路指導に必要な助成等学生生活の多岐にわたる分野の助成を行っております。つきましては、何卒本会の趣旨にご賛同頂きまして、各位の格別のご高配、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、入会方法等の詳細については、弘前大学総務部総務広報課 (Tel : 0172-39-3012、E-mail : jm3012@hirosaki-u.ac.jp) までご連絡いただくか、弘前大学後援会ホームページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/kouen/index.html>) をご覧ください。

### <2013~2016年の1年毎及び4年間のASD有病率と累積発生率>

	2013年	2014年	2015年	2016年	合計	
ASD診断確定数	22	20	25	20	87	
地域で生まれたASD児数	13	16	20	18	67	
地域の全5歳児数	1310	1261	1221	1224	5016	
スクリーニング回答数	954	965	1004	1031	3954	
地域で生まれた5歳児数	1359	1258	1303	1192	5112	
粗有病率 (%) (95%信頼区間: CI)	男児	2.04 (0.98 - 3.10)	2.03 (0.94 - 3.13)	3.00 (1.64 - 4.36)	2.82 (1.42 - 4.23)	2.35 (1.76 - 2.94)
	女児	1.28 (0.40 - 2.16)	1.13 (0.30 - 1.95)	1.13 (0.30 - 1.96)	0.83 (0.11 - 1.56)	1.09 (0.68 - 1.51)
	計	1.68 (0.98 - 2.38)	1.59 (0.90 - 2.28)	2.05 (1.25 - 2.84)	1.63 (0.92 - 2.34)	1.73 (1.37 - 2.10)
調整有病率 (%) (95% CI)	男児	-	-	-	-	4.06 (3.20 - 4.92)
	女児	-	-	-	-	2.22 (1.57 - 2.88)
	計	-	-	-	-	3.22 (2.66 - 3.76)
5年累積発生率 (%) (95% CI)	男児	1.14 (0.35 - 1.92)	1.39 (0.49 - 2.29)	2.19 (1.06 - 3.33)	2.16 (1.00 - 3.32)	1.70 (1.20 - 2.19)
	女児	0.76 (0.10 - 1.43)	1.15 (0.30 - 1.99)	0.90 (0.18 - 1.62)	0.85 (0.11 - 1.59)	0.91 (0.54 - 1.28)
	計	0.96 (0.44 - 1.47)	1.27 (0.65 - 1.89)	1.53 (0.87 - 2.20)	1.51 (0.82 - 2.20)	1.31 (1.00 - 1.62)

ASD = 自閉スペクトラム症、有病率 (%) = (ASD数 / 地域の全5歳児数) × 100  
5年累積発生率 (%) = (地域で生まれたASD数 / 地域で生まれた5歳児の数) × 100

Saito et al. Molecular Autism (2020) 11:35 表改変

表

本研究は『Prevalence and cumulative incidence of autism spectrum disorders and the patterns of co-occurring neurodevelopmental disorders in a total population sample of 5-year-old children』として、二〇二〇年五月十四日に英国の学術誌Molecular Autism誌に掲載されました。この論文はDSM-5診断基準における国内での自閉スペクトラム症(ASD)の有病率を明らかにし、さらに各年の有病率の増加がないことを証明した初めての報告です。

神経精神医学講座は子どものころの発達研究センター、保健学研究科、教育学部とともに、二〇一三年から地域の全五歳児に対する五歳児発達健診を毎年実施し、疫学調査を行っています。国際的にASDの有病率は増加傾向である報告が散見されますが、真に増加しているかどうかは結論が出ていません。地域の全数調査を用いたASDの疫学研究は国際的にも報告が少なく、国内では現在のDSM-5診断基準における有病率はこれまで報告がありませんでした。そこで我々

## 5歳における自閉スペクトラム症の有病率は3%以上であることを解明

〜地域の全5歳児に対する疫学調査を毎年実施〜

神経精神医学講座 准教授 斉藤 まなぶ

は、①五歳におけるASDの有病率と支援のニーズ、②五年累積発生率の推移によるASDの真の増加の有

無、③他の障害の併存の割合、の三点を明らかにするために本研究を行いました。二〇一三〜二〇一六年に、弘前市五歳児健診で調査が行われた五千十六名を解析の対象としました。三千九百五十四人の保護者と教師または保育者(参加率七八・八%)がスクリーニングに回答し、そのうちスクリーニング陽性だった児(次ページへ続く)



(前ページより)  
 ました。多くの先生方のお力添えのおかげで論文として完成し、今回受賞までさせて頂けたことを本当に嬉しく思っております。  
 最後となりますが、ご選考頂いた先生方、ご指導い

ただいた伊藤悦明教授、照井君典先生、土岐力先生、工藤耕先生をはじめとする多くの先生方、今回の研究にご協力くださったすべての皆様へ心から感謝申し上げます。この度は大変ありがたうございました。

# 令和2年 鵬桜会総会

鵬桜会理事 今泉忠淳  
 (脳血管病態学講座 教授)

令和二年五月三十日に、弘前市のホテルニューキャッスルにおいて、令和二年度の鵬桜会総会が開催されました。柿崎良樹理事(昭和五十四年卒)の司会のもと、物故会員に対する黙祷を行い、その後、西澤一治理事長(昭和四十六年卒)、福田眞作弘前大学長(昭和五十六年卒)、佐藤敬青森中央学院大学長(昭和五十年卒)、廣田和美医学研究科長(昭和六十一年卒)の挨拶がありました。

橋正人監事(昭和五十五年卒)から監査報告、須藤武行理事(平成四年卒)から決算報告、澤田美彦理事(昭和五十二年卒)から庶務・事業報告がありました。例年ですと、総会の後、学士編入学生の歓迎会を兼ねた懇親会が行われていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の流行のため、懇親会は行われませんでした。

鵬桜会は、弘前大学医学部医学科の同窓会で、「弘前大学医学部における教育、研究の振興及び医学知識の普及を図ると共に、会員の連絡・啓蒙を行い、もって学術、文化の発展に寄与すること」を目的としてい

ます。「鵬」は、「莊子」にも出てくる、伝説の巨大な鳥のことです。  
 医学研究科は、鵬桜会から長年にわたり継続して支援をいただいています。昨年は、弘前医学会をはじめ、六件の医学研究科主管の医学的行事や学会に助成をいただきました。また、弘前大学医学部学術賞へも助成をいただいています。昨今の厳しい財政状況の中で、これらの援助は本当にありがたいものであり、医学研究科の構成員はそのことを忘れてはいけません。さらに、鵬桜会の特徴として、現役の学生に対する支援があります。総合文化祭の医学展、卒業生および新入生の歓迎会、各部活動主管の大会、医師国家試験対策委員会などへ助成をいただいています。普段の学生生活ではあまり実感はないかもしれませんが、弘前大学医学部医学科の学生は、例外なく、鵬桜会の支援を受けながら医学を修学しています。あらためて、このことを記しておきたいと思えます。そして、卒業して晴れて医師となった暁には、今度は鵬桜会の会員として会費を納め

## 公益財団法人小林財団 第8回(令和元年度) 研究助成金採択

脳血管病態学講座 助教 松宮朋穂

この度小林財団第八回(令和元年度)研究助成に採択されましたので、その概要をご報告いたします。小林財団は小林製薬(ノドヌー○スプレーやア○ボン洗眼薬、あと古い方だと、命○母でおなじみだと思えます)の会長が理事長を務めている財団で、アジア諸国と日本の国際友好親善ならびに人材育成への寄与を目的に二〇〇二年に設立されたそうです。財団の事業としてアジア諸国から日本に留学している私費留学生への奨学金支給とともに、生命科学に対する研究助成を行っております。

今回私は脳血管病態学講座の大学院生となった中国出身の丁江麗さんと研究グループをつくり、高サイトカイン血症の病態解明を目指した研究テーマで申請しました。医療技術や治療薬が日々新しくなっているにも関わらず、敗血症の致死率は改善されていません。チャレンジングなテーマではありますが、これまでとは視点を変えた研究に着手しようと、そのアイデアを申請したところ、運よく採択となりました。

研究期間である二年間に行う予定であった数々の計画は、新型コロナウイルスの影響により、後輩への支援という形で恩返しをしていくことが、大切なことと

オーライと思つて粛々とできることをこなそうと思えます。  
 講座のボスである今泉先生はじめ、脳血管病態学講座のスタッフ、大学院生の皆様には申請にあたり色々とご指導頂きました。感謝しております。また、今回の採択も医学研究科のバックアップがあったことだと思えます。特に、総務グループ研究支援・会計担当の倉内さんには大変お世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。

一年間延期で令和三年度受審となりました。さらに、令和二年前期の授業は全て遠隔授業(メディア授業)で行わざるを得なくなり、令和二年四月八日・四月十日の二回副学務委員長 袴田健一教授による遠隔授業F Dが開催されました。このF Dでは、遠隔授業の概要に加えて、遠隔授業導入に向けて必要な準備などが詳しく紹介されました。実際の遠隔授業に関する教職員・学生の対応等は、医学部ウォーカー第九十四号(本号)の別記事として掲載されているとおりですが、前期が全てが遠隔授業で、かつ滞りなく行われた背景に、このF Dによる説明周知があったからと思っております。現在では、H O L S (Hirotsuki University Online Learning Supporting System)は医学科授業の骨格としてしっかりと定着し、今後も重要性を増してゆくと確信しています。

令和二年三月十八日に、医学研究科・基礎第二講義室にて、医学科教育F D (Faculty Development) が開催されました。今年、弘前大学医学部は、国際認証として、日本医学教育評価機構の医学教育分野別評価を受審予定のため、医学科長・医学教育センター長若林孝一教授より「医学教育分野別評価受審の要点」について説明がなされました。学務委員長 鬼島より「カリキュラム構築とシラバス」を説明し、受審に向けての準備状況等が示されました。医学教育に必要な情報の収集・解析・提供を担う医学教育センターIR部門長 佐々木賀広教授からは「データ解析から見た医学科学生」の現状が紹介されました。さらに令和三年一月には、全国的な入試改革の一環として、大学入

## 令和2年度 弘前大学 成績優秀学生表彰

学務委員長 鬼島 宏  
 (病理生命科学講座 教授)

成績優秀学生表彰は、各学部(医学部は医学科・保健学科)の各学年で前年度の成績が優秀であった学生を表彰する取組みで、平成二十一年度にスタートし、今年で十一年目となります。

学部学生については履修科目の平均点をもとに選抜しており、医学部医学科からは五名の学生(現在二、六年次)が選ばれました。八月七日(金)に文京キャンパスにて表彰式が行われました。廣田和美医学部長、大山路附属病院長が見守る中、福田眞作学長から一人一人に表彰状と副賞が贈呈されました。学長からは祝辞とともに、今後大いに活躍されるこ

とを期待している旨の励ましの言葉をいただきました。なお、二年次・三年次学生は、夏季・春季休業期間にオーケランド工科大学(ニュージーランド)で二週間の語学研修に参加することができ、四年次学生は授業料後期免除となります。

学生諸君にはこの表彰を励みにさらなる発展を期待しています。

令和2年度 弘前大学成績優秀学生

医学部医学科2年	御代田 浩佑
医学部医学科3年	奥寺 真子
医学部医学科4年	藤尾 静香
医学部医学科5年	中里 大樹
医学部医学科6年	下鳥 泰大

令和2年度 成績優秀学生 表彰式

**遠隔授業F D**

日時: 令和2年4月8日(水) 17:00~  
 令和2年4月10日(金) 17:00~  
 (両日同じ内容です。都合がつく日においでください)

場所: 医学研究科 基礎大講義室

内容: 遠隔授業の導入に向けて、概要を説明いたします。また、以下の内容を体験いただきます。  
 カメラ付きノートパソコンをお持ちの方はご参加ください。黒板白黒板用スライドサンプリング(パワーポイントファイル、学術スライド等でもOK)があれば、黒板白黒板1層(回答紙5枚、ワードファイル)とともにPCに入れてご参加ください。  
 (予定している作業)  
 ① 簡単なオンライン授業用動画コンテンツの作成  
 ② コンテンツと質問をHOLSにアップする方法  
 ③ 受講状況確認等のHOLSの利用法

主催: 医学研究科学務委員会  
 後援: 学務グループ学務センター (内150)

**令和2年度 医学科教育F D**

令和2年度は弘前大学入学生入学テストが実施されて大学入試改革が本格化し、加えて、医学教育分野別評価を受審する年度となります。今回のF Dの目的は、これらに適切に対応すべく準備を進めることです。

日時: 令和2年3月18日(水) 17:00~ (基礎会終了後)  
 場所: 基礎第二講義室

1. 医学教育分野別評価受審の要点  
 医学科長、医学教育センター長 若林 孝一 教授
2. カリキュラム構築とシラバス  
 学務委員長 鬼島 宏 教授
3. 令和3年度入試の変更点とその意義  
 入試専門委員長 上野 伸哉 教授
4. データ解析から見た医学科学生  
 医学教育センターIR部門長 佐々木 賀広 教授

主催: 医学研究科学務委員会  
 後援: 学務グループ学務センター (内150)



# 来年度の倍返しに期待!

分子生体防御学講座 教授 伊東 健

令和2年度科学研究費補助金採択状況

医学研究科および附属病院における令和2年度の科学研究費採択状況が公表されました。まずは付表をご覧ください。下の表には平成三十年度から新規採択の実績の三年分の推移を表で示させていただきました。採択件数などを見ると基本的には横ばい状態ですが、今年度は医学研究科の新規採択率が一五%台まで落ち込んだ影響もあり、交付内定額は医学研究科と附属病院

を合わせると昨年度に比較して一千五百万ほど減少しています。いつも書いていくことですが、新規採択率の全国平均は例年約二五%です。まずはこの値に到達できるように、来年度に向けて少しずつでも改善していくことが大切だと思います。また、これと同時に基盤B以上の中・大型科研究費を獲得することが全体的な交付内定額を増やすことに重要です。弘前大学では、

研究戦略アドバイザーアカデミックチェック、科研費獲得支援事業、科研費獲得スキル向上セミナーなどを行い科研費獲得を支援しています。一度、研究・イノベーション推進機構のホームページを覗いてみてください。科研費獲得支援事業の大型種目チャレンジ型では令和三年度公募分からかなり手厚い支援内容に変更になっていますので、格段にチャレンジしやすい環境になっています。科研費獲得の実績は大学の評価にも頻りに用いられます。大学の奮起に期待したいと思います。

## ○令和二年度科研費 申請・内定状況(新規)

部局名	申請件数	採択件数	採択率 (%)	交付内定額 (千円)
医学研究科	158	26	16.5%	45,760
医学部附属病院	100	19	19.0%	24,570
計	258	45	17.4%	70,330

## ○令和元年度科研費 申請・内定状況(新規)

部局名	申請件数	採択件数	採択率 (%)	交付内定額 (千円)
医学研究科	147	31	21.1%	51,610
医学部附属病院	121	25	20.7%	34,320
計	268	56	20.9%	85,930

## ○令和元-二年度科研費 研究種目別内定状況(新規)

研究種目名	医学研究科			医学部附属病院			合計		
	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
基盤研究 (S)							0	0	0
基盤研究 (A)	1						1	0	0
基盤研究 (B)	1		1				1	0	1
基盤研究 (C)	20	20	14	6	7	8	26	27	22
特定領域研究							0	0	0
新学術領域研究							0	0	0
挑戦的研究 (開拓)		1					0	1	0
挑戦的研究 (萌芽)			1				0	0	1
若手研究	11	10	10	9	18	11	20	28	21
研究活動スタート支援							0	0	0
特別研究促進費							0	0	0
研究成果公開促進費							0	0	0
特別研究員奨励費							0	0	0
奨励研究							0	0	0
合計	33	31	26	15	25	19	48	56	45

## 公益社団法人 青森医学振興会

沿革 平成11年3月1日 弘前大学医学部医学科後援会鵬桜医学振興会発足(任意団体)  
平成24年4月1日 公益社団法人青森医学振興会設立許可(青森県)

振興会では、21世紀の青森県の医学・医療を積極的に支援しようと次の事業を行っております。  
○医学教育の助成 教育活動を活性化するための支援  
○医学研究の助成 研究活動を高度化するための支援  
○地域医療振興事業の助成 地域医療に貢献するための支援  
○医学国際交流の助成 国際学術交流の支援

随時、会員の募集とご寄附の受付をしております。  
会費と寄附金の納入方法は下記の通りです。

口座名	社団法人 青森医学振興会		
口座	青森銀行 弘前支店	普通 1087485	※ 各銀行の本店及びみちのく銀行 大学病院前支店 普通 0198579 ゆうちょ銀行から振込むゆうちょ銀行振替(旧郵便振替) 02200-4-57580 場合は、手数料無料です。
会費	会員種別	年会費	お振り込みいただく場合は、お手数ですが、振興会事務局までご連絡(電話、メール)願います。
	医学部教員	1万円	
	医学部卒業生	2万円	
	賛同する個人	1万円	
	賛同する団体	10万円	

お問い合わせ TEL:0172(33)5111内線6519 E-mail:jimu@aomori-mpm.jp

## COVID-19

### 感染制御に想う

感染制御センター長 萱場 広之 (臨床検査医学講座 教授)



二〇二〇年七月五日にこの原稿を書いている。日本ではCOVID-19流行の第一波は比較的うまくやり過ぎた。と、思っていたところ、この一週間ほどで東京とその周辺で明らか患者数の再上昇が見られている。政治的な動きをみると、第一波の時のように緊急事態宣言、社会活動の強い自粛を行うほどの余裕はもはや社会に残されていないとの考えのようである。

再上昇を牽引しているのは接待を伴う夜の酒場であり、年齢層は二十〜三十代である。ターゲットが絞られているうちに対応すれば、経済的ダメージも小さく抑えられる。現状の上昇スロープが大きな波の始まりなのか、単なる小さな波の後者であってほしい。ともあれ、諸外国の対応を見ても社会活動の制限を緩めた国が多く、経済を回しながら新型コロナウイルスとともに生きていく方針になっているようである。患者が安心して、良質かつ安全な医療を受けられる環境を提議する職務に身を置く者にとつては、何よりも安全を優先した政策をとってもら

## メディア授業で伝わること・伝わりにくいこと

学務委員長 鬼島 宏 (病理生命科学講座 教授)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行により、弘前大学では令和二年度前期すべての授業がメディア授業(遠隔授業・オンライン授業)となりました。全く予定していなかった授業体制ということでしたが、カリキュラム上での重大な遅れもなく何とか前期授業が行えたの



は、教職員・学生双方の努力のたまものと理解しています。医学科のメディア授業は、面接授業(対面授業)に比較的近い環境のリアルタイム型ではなく、一定期間内にいつでも受講できるオンデマンド型を基本とし、場合によっては、別の時間帯に履修可能なこと、繰り返し学修や自己評価が可能であることなどが、オンデマンド型を主体とした理由です。実際に授業のための動画コンテンツや配布用PDFを作成してみると、メディア授業で「伝わらない

の使い道はたくさんある。以前から、表現はやや品がないが、「感染制御はヒトの制御である。」と語ってきた。なぜ何度も言ってきたのかといえは、ヒトの制御は至難の業だから。そこがヒトの良いところでもある。それでも、日本人は今回も優等生だったと思う。緊急事態宣言への評価は「後出し」でいろいろ言う人がたくさんいたが、とにかくみんな頑張った。第一波は収まった。感染制御は六十点で合格ではない。ほぼ百点で初めて合格である。ガムの決壊のように小さな小さな穴が全体の崩壊を招く。その意味で「ヒトの制御は至難」になるのである。今回のコロナ禍は手ごわい。我々の小さな弱点を今も突いている。こと」はほとんどないことを改めて認識しました。このため、本稿のタイトルは「伝わること・伝わりにくいこと」としてあります。PowerPointアニメーションを駆使すれば、重要事項や学修のピットフォールも十分に伝わります。著作権や不適切な表現に留意して動画コンテンツや配布資料を作成すれば、大学の財産にもなります。「伝わりにくいこと」は何でしょうか。正常(健康状態)と疾患(病的状態)の間は、連続した変化であることが多く、アナログで可視化しています(放射線画像をはじめとした臨床画像がその代表)。アナログ化されたイメージの考え方は、デジタル構築されたメディア授業では伝わりにくいと実感しました。一例を病理画像でお示します(次ページへ続く)

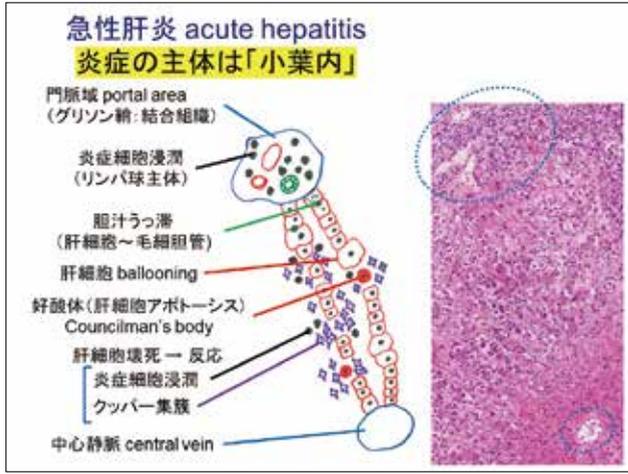
いたいが、社会に医療ではないのも事実である。新型コロナウイルスや新たな感染症の脅威の存在でどうやって医療を守るのか、既存の常識を超えた医療スタイルの変貌が求められる。医療側と患者による診療・検査データのシェア、リモート診療、AIによるスクリーニング、伝染性主要感染症の迅速スクリーニング検査など、すでに土台のできてい

るものも少なくない。今回の事例で普及が加速することを期待している。さて、再び現実の話、新型コロナウイルスに対しては特効薬やワクチンの開発はまだ途上であって、我々はほぼ無防備の状態に置かれている。しばらくの間でできることと言えは、その週、その次の週、その月、

この半年で、変わったことがある。いままで常識と生きてきたこと、習慣になつてきたことが、かなり省略できてしまったことだ。気づいたというより、以前から感じていたことが確認できてしまったというほうが正しい。もう元には戻らない。節約できた時間と金を

(前ページより)  
 (写真)。昨年度までの面接  
 授業では、黒板を使って病  
 理画像の模式図を描いてい  
 ました。今年度、メディア  
 授業コンテンツ作成の際  
 に、実際の病理組織写真に  
 直接説明を入れても分か  
 りにくいと思われたため、ア  
 ナログ化した模式図もあ  
 て取り上げて、これに説  
 明を入れ、実  
 際の写真と対  
 比することで  
 理解が深ま  
 ると感じまし  
 た。脳の中で、  
 画像はそのま  
 ま焼き付けら  
 れるのではな  
 く、アナログ  
 化することで  
 学修している  
 のでしょう。  
 一方、デジタ  
 ル化が一般的  
 となった内容  
 (例えば検査

値)は、メディア授業でも  
 適切に伝わるのではないで  
 しょうか。  
 今後も、一定量のメデイ  
 ア授業を取り入れながらの  
 教育体制が継続します。一  
 方で、面接授業で伝えるべ  
 きことは何かを推敲し、対  
 面ならでの授業を行って  
 ゆきたいと思えます。



## オンライン授業導入と HOLS構築の経緯について

副学務委員長 袴 田 健 一  
 (消化器外科学講座 教授)

新型コロナウイルス感染  
 症は、私たちのそれまでの  
 大学生活を一変させまし  
 た。新型コロナウイルス感  
 染のクラスター発生が全  
 国に拡大し、東京オリンピ  
 ックの開催延期が決定され  
 た。翌日の三月二十五日、医  
 学部では今後の対応が協議  
 され、四月八日の新学期授  
 業開始に合わせてオンライン  
 授業導入を目指すこととな  
 りました。幸い、本学には  
 オンライン授業システムの

Moodleが構築されており  
 ましたし、国立情報学研  
 究所を通じて全国の大学の取  
 組状況を逐次情報共有がで  
 きましたので、オンライン  
 授業の導入は十分に可能と  
 思われました。早速三月  
 三十日から、情報基盤セン  
 ターのご支援を得て準備を  
 開始いたしました。  
 ところが、いざ検討して  
 みると短期間で解決すべき  
 多くの課題が噴出しまし  
 た。まず、医学部の講義数

があまりに膨大(前期だけ  
 でも七百講義以上)で、し  
 かも多くの講義で画像や動  
 画データを用いるために  
 Moodleのハードディス  
 ク容量では対応が難しいこ  
 とが判明しました。加えて  
 八百人もの医学部全学生が  
 同時に動画視聴した場合に  
 大学の通信ネットワークへ  
 の負荷が大きく、不測  
 の事態も懸念されました。  
 また、当時Moodleはダウ  
 ンロード許可を前提として  
 いたため、生々しい医療映  
 像情報を含む臨床系講義に  
 は不適と思われました。そ  
 のため、Moodleを活用し  
 たオンライン授業の早期導  
 入の目論見はずれ、新た  
 なシステムの活用を検討せ  
 ざるを得なくなりました。  
 実は、私は学務委員をこ  
 の数年担当させていただ  
 いてきた経緯から、国際認  
 証で求められるubiquitous  
 Learning(学生がどこでも  
 自由に学習できる環境)や  
 反転授業の整備を目的に、  
 オンライン学習システム  
 (LMS: Learning Manage-  
 ment System)の開発を進  
 んでおりました。医学科へ  
 のオンライン授業の導入が  
 求められる危急事態でした  
 ので、このシステムのオン  
 ライン授業への転用の可能  
 性について急遽情報基盤セ  
 ンターの担当者の方々にご  
 相談したところ、ハード  
 ディスク容量不足や大学の  
 通信システムへの過負荷の  
 問題を解決でき、情報セ  
 キュリティーポリシーの基  
 準をクリアできるご判断を  
 いただき、活用をご助言  
 いただきました。HOLS  
 (Hirotsaki University Online  
 Learning System)です。  
 本来はマイページによる受

講管理が望ましいところで  
 すが、学生の教育環境の確  
 保を最優先にし、利便機能  
 の付与は後日行うこととい  
 えました。突貫工事でシ  
 ステム改修を進め、最終的  
 に四月八日の授業開始に  
 合わせてシステム構築が  
 完了いたしました。  
 次の大きな課題は、教育  
 コンテンツの作成法の整備  
 でした。突然のオンライン  
 授業の導入に対応して教育  
 コンテンツを作成いただく  
 ためには、可能な限りの教  
 員の負担を軽減する必要が  
 あり、一にも二にも簡便な  
 方法、そして均一、小容量  
 なコンテンツが作成できる  
 方法を模索しました。特  
 に、データマイエットはシ  
 ステム運用上必須要件であ  
 ることから、様々な方法を  
 検証し、最終的にZoom  
 を用いてMP4動画ファイ  
 ルを自動作成する方法を推  
 奨することになりました。説  
 明用のビデオを作成し、四  
 月八日と十日にはオンライ  
 ン授業導入のためのFDを  
 開催いたしました。不慣  
 れな説明にもかかわらず多  
 くの教員や学務の職員の皆  
 様のご理解とご協力をいた  
 だき、順調に教育コンテ  
 ツが集積されて行きました  
 中。中には、納得行くまで  
 何度も録画を繰り返した教  
 員や、一つの講義を準備す  
 るために十二時間以上もか  
 けた熱心な教員も数多くお  
 られたようです。その甲斐  
 あって四月二十日に延期さ  
 れた授業開始予定日に合わ  
 せてオンライン講義の試験  
 運用を開始し、大学の方針  
 で再延長された五月十一日  
 の授業開始日には、二百以  
 上の教育コンテンツがHOLS  
 上に準備され、正式に  
 オンライン授業をスタート  
 することができました。そ

の後も教育コンテンツの整  
 備は順調に進み、導入一か  
 月目で約四百、七月初めま  
 では七百以上の講義がHOLS  
 上に搭載されまし  
 た。今や医学科の知の結晶  
 とも言える教育コンテ  
 ンツライブラリーがHOLS上  
 に構築されています。  
 第三の課題は学生の受講  
 環境の調査と整備でした。  
 緊急事態宣言が発動され、  
 学生は生活に制限が加わっ  
 て孤立している上に、オン  
 ライン授業という新しい形  
 式への適応が求められ、大  
 きなストレスがかかっている  
 ことは想像に難くありま  
 せん。調査しますと、当初、  
 受講環境が自宅にない、あ  
 るいは通信環境が細く不安  
 定な学生も一定数あり、受  
 講環境の確保が必要でし  
 た。この点は自助努力なら  
 びに大学の対応によって改  
 善に向かいました。通信  
 ネットワークの脆弱性とデ  
 ジタル化の遅れは全国的な  
 課題で、コロナ禍を契機に  
 あらゆる分野でのオンライ  
 ン化とインフラ整備が進め  
 られることとなります。ま  
 た、個人ベースでも通信環  
 境への投資が必須の時代と  
 なりました。

オンライン授業も開始か  
 ら三か月が経過し、社会全  
 体がオンライン環境に次第  
 に慣れ、オンライン授業の  
 メリットとデメリットも明  
 らかになりつつあります。  
 授業時間が短縮される点、  
 スライドが見やすい、反復  
 して聴講できる点は大きな  
 メリットです。関連する他  
 の講義を視聴できれば幅の  
 広い学習も期待できます。  
 一方で、臨床現場でチーム  
 医療を学ぶことができな  
 い、患者さんとのコミュニ  
 ケーションがとれない、臨  
 床的な意義付から離れて知

識偏重となるなど、決定的  
 なデメリットもあります。  
 学生にとってはオンライン  
 授業のみではモチベーショ  
 ンの維持が難しいでしょう  
 し、双方向性の担保や成績  
 評価が難しいなどの課題も  
 あります。しかしながら、  
 現在の国内外の新型コロナ  
 ウイルス感染状況と治療薬  
 の開発状況を勘案すると、  
 当面は様々なオンラインと  
 うまく付き合う必要があり  
 そうです。オンライン授業  
 の特性をうまく活用して、  
 新しい時代の学習法を見出  
 してゆく必要もあります。  
 ポストコロナを迎えること  
 ができ、密接、密集して集  
 むことができる時がしまし  
 ります。オンライン授業は一  
 定割合残り、新しい学習法  
 の核になるでしょう。上手  
 に付き合いたいものです。

入学してから四ヶ月程が  
 経ちました。尊敬する医師  
 である父と祖父が卒業した  
 弘前大学医学部医学科で学  
 べることに、大きな期待を  
 抱いて入学したものの、現  
 在は、想像とはかなり違っ  
 た時間を過ごしています。  
 入学式には親子三代で写真  
 を撮るといふ小さな夢も叶  
 いませんでした。しかし、  
 この自粛期間は悪いことば  
 かりではなかったように思  
 います。  
 自分のパソコンを所有  
 し、学業に使用するの初  
 めての体験でした。授業が  
 始まった当初は、パソコン  
 の使い方もよく分からず、  
 タイピングもまともにでき  
 ず、困惑してばかりでした  
 が、それでは授業を受ける  
 ことも、課題を提出するこ  
 ともできない状況に置か  
 れ、強制的に特訓させられ  
 ました。英語の授業では、  
 素早くチャットに英語を打  
 ち込まなければならず、図  
 らずも英語のタイピングが  
 早くなりました。更には、  
 オンライン授業を通して、  
 新しい生活様式について考  
 えることができたと思いま  
 す。  
 また、人生で初めて親元  
 (次ページへ続く)

第三の課題は学生の受講  
 環境の調査と整備でした。  
 緊急事態宣言が発動され、  
 学生は生活に制限が加わっ  
 て孤立している上に、オン  
 ライン授業という新しい形  
 式への適応が求められ、大  
 きなストレスがかかっている  
 ことは想像に難くありま  
 せん。調査しますと、当初、  
 受講環境が自宅にない、あ  
 るいは通信環境が細く不安  
 定な学生も一定数あり、受  
 講環境の確保が必要でし  
 た。この点は自助努力なら  
 びに大学の対応によって改  
 善に向かいました。通信  
 ネットワークの脆弱性とデ  
 ジタル化の遅れは全国的な  
 課題で、コロナ禍を契機に  
 あらゆる分野でのオンライ  
 ン化とインフラ整備が進め  
 られることとなります。ま  
 た、個人ベースでも通信環  
 境への投資が必須の時代と  
 なりました。

オンライン授業も開始か  
 ら三か月が経過し、社会全  
 体がオンライン環境に次第  
 に慣れ、オンライン授業の  
 メリットとデメリットも明  
 らかになりつつあります。  
 授業時間が短縮される点、  
 スライドが見やすい、反復  
 して聴講できる点は大きな  
 メリットです。関連する他  
 の講義を視聴できれば幅の  
 広い学習も期待できます。  
 一方で、臨床現場でチーム  
 医療を学ぶことができな  
 い、患者さんとのコミュニ  
 ケーションがとれない、臨  
 床的な意義付から離れて知

識偏重となるなど、決定的  
 なデメリットもあります。  
 学生にとってはオンライン  
 授業のみではモチベーショ  
 ンの維持が難しいでしょう  
 し、双方向性の担保や成績  
 評価が難しいなどの課題も  
 あります。しかしながら、  
 現在の国内外の新型コロナ  
 ウイルス感染状況と治療薬  
 の開発状況を勘案すると、  
 当面は様々なオンラインと  
 うまく付き合う必要があり  
 そうです。オンライン授業  
 の特性をうまく活用して、  
 新しい時代の学習法を見出  
 してゆく必要もあります。  
 ポストコロナを迎えること  
 ができ、密接、密集して集  
 むことができる時がしまし  
 ります。オンライン授業は一  
 定割合残り、新しい学習法  
 の核になるでしょう。上手  
 に付き合いたいものです。

入学してから四ヶ月程が  
 経ちました。尊敬する医師  
 である父と祖父が卒業した  
 弘前大学医学部医学科で学  
 べることに、大きな期待を  
 抱いて入学したものの、現  
 在は、想像とはかなり違っ  
 た時間を過ごしています。  
 入学式には親子三代で写真  
 を撮るといふ小さな夢も叶  
 いませんでした。しかし、  
 この自粛期間は悪いことば  
 かりではなかったように思  
 います。  
 自分のパソコンを所有  
 し、学業に使用するの初  
 めての体験でした。授業が  
 始まった当初は、パソコン  
 の使い方もよく分からず、  
 タイピングもまともにでき  
 ず、困惑してばかりでした  
 が、それでは授業を受ける  
 ことも、課題を提出するこ  
 ともできない状況に置か  
 れ、強制的に特訓させられ  
 ました。英語の授業では、  
 素早くチャットに英語を打  
 ち込まなければならず、図  
 らずも英語のタイピングが  
 早くなりました。更には、  
 オンライン授業を通して、  
 新しい生活様式について考  
 えることができたと思いま  
 す。  
 また、人生で初めて親元  
 (次ページへ続く)

**学生だより**

学生だより  
 弘前大学に入学してからの  
 生活について

### 思い描いていた大学生活

医学科一年 早坂 脩 真

勉学に励み、部活動に打  
 ち込み、仲間たちと切磋琢  
 磨し合う。そんな大学生活  
 を思い描いていましたが、  
 コロナウイルスによってそ  
 の理想は打ち砕かれてしま  
 いました。  
 弘前大学に入学してから  
 苦労していることは「つな  
 がりを持ってないこと」で  
 す。例年なら入学式や交流  
 識偏重となるなど、決定的  
 なデメリットもあります。  
 学生にとってはオンライン  
 授業のみではモチベーショ  
 ンの維持が難しいでしょう  
 し、双方向性の担保や成績  
 評価が難しいなどの課題も  
 あります。しかしながら、  
 現在の国内外の新型コロナ  
 ウイルス感染状況と治療薬  
 の開発状況を勘案すると、  
 当面は様々なオンラインと  
 うまく付き合う必要があり  
 そうです。オンライン授業  
 の特性をうまく活用して、  
 新しい時代の学習法を見出  
 してゆく必要もあります。  
 ポストコロナを迎えること  
 ができ、密接、密集して集  
 むことができる時がしまし  
 ります。オンライン授業は一  
 定割合残り、新しい学習法  
 の核になるでしょう。上手  
 に付き合いたいものです。

### コロナ禍での新生活

医学科一年 福地 桃

入学してからの四ヶ月程が  
 経ちました。尊敬する医師  
 である父と祖父が卒業した  
 弘前大学医学部医学科で学  
 べることに、大きな期待を  
 抱いて入学したものの、現  
 在は、想像とはかなり違っ  
 た時間を過ごしています。  
 入学式には親子三代で写真  
 を撮るといふ小さな夢も叶  
 いませんでした。しかし、  
 この自粛期間は悪いことば  
 かりではなかったように思  
 います。  
 自分のパソコンを所有  
 し、学業に使用するの初  
 めての体験でした。授業が  
 始まった当初は、パソコン  
 の使い方もよく分からず、  
 タイピングもまともにでき  
 ず、困惑してばかりでした  
 が、それでは授業を受ける  
 ことも、課題を提出するこ  
 ともできない状況に置か  
 れ、強制的に特訓させられ  
 ました。英語の授業では、  
 素早くチャットに英語を打  
 ち込まなければならず、図  
 らずも英語のタイピングが  
 早くなりました。更には、  
 オンライン授業を通して、  
 新しい生活様式について考  
 えることができたと思いま  
 す。  
 また、人生で初めて親元  
 (次ページへ続く)

(前ページより)  
を離れ、一人暮らしを始めました。掃除や料理、公共料金の支払いなど、できないことの多さに面食らいましたが、オンライン授業で家にいる時間が長かったため、徐々に慣れることができました。特に、試行錯誤しながらではありますが、自炊に励んでいます。周囲

の友人たちも同じく、自炊の心がけているようです。この数ヶ月間は、自立した人間として必要な最低限の生活スキルを身につける貴重な時間となりました。コロナ禍中に入学したことをマイナスにはせず、この経験を糧として、立派な医師になれるよう、勉学に励んでいきたいと思えます。

## 学生だより WEB講義を経験して

### オンライン授業と子育ての両立

医学科二年 佐々木 宏 和

①朝六時半、眠い目をこすりながら、録画したアンパンマンを適当にピックアップ②そのまま一歳半の息子のご機嫌を損ねないように、朝食・おむつ交換・着替え③朝八時と夕方五時半、息子と妻をそれぞれ保育園と職場に送迎④帰宅後、夕食・入浴を済ませ、夜十時に就寝⑤午前三時から五時くらいにかけて、二、三回息子が夜泣き。

このような生活サイクルの中に、オンライン授業を組み込むことは一見難しいように思えるかもしれませんが、確かに、慣れるまでは苦労しましたが、これはオンライン授業に限った話ではありません。むしろフレックスに受講ができるので、子供が熱を出して早退した際にも、埋め合わせが可能です。また、何度でも再生できることは言うまでもありませんが、テキストと照らし合わせながら、丁寧に受講ができることが最大のメリットと言えます。

### WEB講義を経験して

医学科二年 樋口 陽

今回、新型コロナウイルス感染症の影響により、授業の形態がWEB授業になり、学習方法にも様々な変化がありました。

授業では先生と顔を合わせることがないために、対面授業だったときよりもさらに集中して聞かなければ特に重要で覚えるべき点を聞き逃してしまうと感じました。

また、二年生の前期に行われる予定だった解剖学実習が延期になったり、ほかにも授業がなくなったり

で、講義に関してより理解を深めることが出来ました。また、メールで質問を受け付けてくださり、その内容を学年で共有する体制が整っていたために対面の時と比べた授業の理解度の差に関してはあまり不安に思うことはありませんでした。

ただやはり試験のほとんどがレポート形式になったことよってきちんと自分の学力が図られているのかという疑問は残るため、今後も夏休みなどの空いている時間を利用して復習を続け、自学自習を進めたいと考えています。

一方でデメリットとしては、自らの講義を受講して溜まってしまうことが多々あったという点が挙げられます。一度受講をさぼってしまうと計画が倒れてしまい、受講が後手後手になってしまふことがあります。

### WEB講義を経験して

医学科三年 角 昂 大

今年度は新型コロナウイルスの影響で講義形式が前年とは大きく変化しました。いままでオンライン上でのWEB講義を経験して感じたことは普段の対面授業とは違ったメリットとデメリットが存在しているということです。

メリットとしては、自分の好きなタイミング、場所で講義を受講することができるという点が挙げられます。基本的にはシラバス通りに講義を受講していましたが、「今日はこの科目を重点的に勉強しよう」とか「講義内容の似ている別科目の講義をまとめて受講しよう」といったシラバスとは若干逸脱したプログラムで講義を受講することができました。これは授業内容の理解を深める上ではやりやすかった点だと思



### WEB講義を経験して

医学科四年 藤尾 静 香

COVID-19の影響により、弘前大学全学部では二〇二〇年度前期を通してWEB講義を実施することになりました。前例のない、遠隔での座学を週六日・三ヶ月弱受講して感じたことを振り返ろうと思います。

●良かったこと  
・一時停止や聞き直しができる：講義中に知らない用語や忘れかけていた知識が現れたとき、動画を止めて教科書やWebで調べたり、過去のノート

### WEB講義を経験して

医学科三年 吉田 史 佳

今回新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ウェブ講義という今までに無い形の授業となりました。突然のウェブ講義という新しい形式にもかかわらず、柔軟に対応してくださった先生方をはじめに学務の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今回ウェブ講義を受けてみて、良かった点は授業が動画での配信のため、聞き逃してしまった点や理解できなかつたところを動画を止めて聞き直したり、考えたりすることができ、またインターネットや教科書を使って理解を深めながら授業を受けることができるという点です。さらに何度でも繰り返し授業を聞くことができるので後日また復習できるという点もこのウェブ講義の強みだと思います。

私が最も対面講義と異なると感じた点は、学校という勉強する場所に行くことで自然と自分のモードを切り替えるのではなく、自分でメリハリつけて勉強に取り組みなければならぬということだと思います。今回のウェブ講義という形式での授業は、改めて自分の勉強に対する姿勢を見直す良い機会にもなりました。

かったのですが、メールで聞くとなると文章の推敲に加え、そもそも質問するに値するものかどうかを悩んでしまうこともあったと思います。

友人とのコミュニケーション：直接会えば簡単に話すような内容でも、わざわざSNSを使ってまでは送らないことも多いと感じました。

●HOLSについて：導入したてのシステムだったこともあり、分からない点やエラーが起きることが何度かありました。その度に迅速に対応して下さった医学科学務担当の方々にはとても感謝しています。この場を借りて御礼申し上げます。

### WEB講義を経験して

医学科四年 八尾 優 太

はじめまして。医学科四年の八尾優太と申します。この度、コロナの影響で前期期間をWEB講義で受講することになりました。そのWEB講義で感じたこと、メリットやデメリットなどについて医学科四年を代表して述べさせて頂きたいと思います。

授業が開始される前、当初どのような授業スタイルになるのか非常に不安でし

た。WEB講義実施のために授業開始が一月程度延期し、どうなってしまうのだろうかという考えが大きかったです。というのも四年生の授業はほぼ一〜五限まで埋まっており、九月にはCBTも控えているからです。人にもほとんど会えず、心細い思いでした。しかし、オンライン授業が始まり、実際に受講して

(次ページへ続く)

### オンライン実習で学んだこと

医学科五年 青木 芽

(前ページより) みるとWEB講義は非常に良いシステムだと感じました。対面授業よりも見やすく、聞き取りやすく、コンパクトにまとまっており、対面授業よりも理解度が深まっています。コンパクトになった分、CBTも上手く並行して勉強できる状態です。また、弘前大学医学部のWEB講義では、リアルタイム講義ではなく、動画投稿形式であるため、分からないところは一時停止や聞き直すことができ、非常に満足しています。復習するのも、とても楽になりました。リアルタイム講義で実施している他大も多く、これらの点は弘前大学医学部WEB講義の強みであると思います。

今回コロナウイルスにより、臨床実習が中止となり、異例のオンライン実習が行われました。両方を通して私が感じ、学んだことを述べます。

臨床実習のありがたさ  
今年、臨床実習は開始から一ヶ月半程度で中止、後期の再開となりました。それまで、オンライン実習という教員も学生も手探りの実習が行われました。率直に申し上げて、オンライン実習は四年次に行ったPBLとあまり変わらず、臨床実習と比べ物足りなさを感じていました。本からは学べない多くのことが、実際の患者さんとの会話や診察の中にあるのだと知っていたためです。患者さんの中には、九月から再開す

る実習に対して学生がコロナだったらと不安になる人もおられると思います。あくまで患者さんは善意で将来の医療者に協力して下さっていることを意識し、医学生という自覚を持って後期の実習にも取り組みたいです。

学校と学生間の連絡体制の脆弱さ  
七月から希望制で臨床実習が再開しました。私も参加して、やはりオンラインよりも多くを学べると感じました。騒ぎが収束しない中、臨床実習再開に協力して下さった方々にお礼を申し上げたいです。しかし、この臨床実習再開は学生にとって非常に突如のことでした。学生からみた再開までの流れは以下の通りです。

当初、臨床実習再開は九月からという認識でした。そんな中六月十五日に、二日後懇談会が行われるという連絡があり、緊急アンケートが行われ、結果は七月からの再開を望む人が二一%、九月以降の再開を望む人が七四%でした。しかし、懇談会では既に七月からの再開が前提とされており、十九日の会議で再開決定となりました。二十二日に、選択制であり希望者のみ実習に参加するという連絡が来ました。

以上の流れを見ると色々な問題点が浮かびます。一学生として申し上げたいことは、懇談会でありながら既に結論が出ており、学生全員の意見をまとめたアンケートが十分生かされなかったこと、非常に遺憾なことであり、学生の意見は検討されないという絶望を植え付けるものであったという事です。

突如として現れ、我々の生活様式を一変させた新型コロナウイルス。その影響は我々五、六年生の臨床実習も例外ではなく、四月に一時中止に追い込まれました。医師になるうえで、臨床実習により座学では学ばれない臨床の現場での考え方や、患者さんとの接し方を学ぶことは必要不可欠ではあります。その一方で、学生が現場にいることで、感染の原因になったり、不足しているマスクや防護具を消費してしまったりということはありません。その中で、弘前大学ではweb臨床実習への切り替えが行われました。

Web臨床実習は病院実習中止からおよそ一か月後のゴールデンウィーク明けから開始されました。今更な振り返りも必要です。こういつた事態を引き起こした原因は、学生と学校側の連絡が疎なものであったこと、学校側の学生組織への信頼度が低いことと考えられます。刻々と状況が変わるため、学校で結論を出し、確定した情報を学生に、という配慮だったのかもしれませんが、学生側では混乱が生じていました。

### コラム 医学部こぼれ話

#### 弘前ねぶた祭り

医学部の学生たちにとつて、弘前ねぶた祭りは夏休みや東医体の期間と重なり、あまり馴染みがないかも知れないが、弘前大学は五十年以上に渡り弘前ねぶた祭りに連続出場しているのを存じだろつか。弘前ねぶた祭りと言えは、青森ねぶた祭りとは違って津軽の夏を盛り上げる夏祭りのひとつとして全国的にも有名である。新任教授は必ず参加しなければならないという暗黙の了解があり、弘前大学の名前が入ったお揃いの浴衣を着て行列に加わることになる。当然のことながら、教育、研究、診療で多忙を極める医学部の新任

教授も例外ではない。行列の先頭集団には学長、理事、病院長、部局長、各学部の教授団が隊列を組み、その後には扇ねぶたを引く張る集団、更に笛と太鼓の集団へと続いていく。慣れない足袋と雪駄を履き、弘前大学の提灯を片手にぶら下げて、先頭集団の五列目あたりで恥ずかしそうに足を引きずって歩いている人たちを見かけたら新任教授だと思ってしまう。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で弘前ねぶた祭りは中止となったが、弘前大学の浴衣を着ていれば誰でも参加ができ、浴衣は大学から無償で借りることができ、来年は是非参加されてみては如何だろうか。

### Web臨床実習を経験して

医学科六年 三浦 峻

で使われたことのないシステムを突然用意する必要があったにもかかわらず、素早い対応がなされたことに敬服しました。一週間のメインとなる内科はPBL形式 (Problem Based Learning: 架空の症例が提示され、グループで会議しながら鑑別と今後の方針を考えていく方法) が取られました。感想としては、PBLは四年次にも一度経験していましたが、一年間臨床実習をしたのにもかかわらず、

床実習をしたのもあったか、より臨床に即した鑑別や、適切な検査の選択ができるようになっていたことに成長を感じました。とはいえ、まだまだ症候から必要な鑑別を上げる力が足りていないことも痛感しました。

Web上での臨床実習という前例のない状況ではありましたが、どんな状況でも自分を伸ばしていけるかどうかはその人の取り組み次第であることは間違いありません。来年度以降は研修医として現場で働くことになりませんが、この期間で学んだことを生かせるように励んでいきたいです。

### 教員だよ

#### WEB講義による授業を実施して

不整脈先進治療学講座 准教授 木村 正臣

新型コロナウイルス感染症によって世界のあらゆる活動が一変しました。当然ながら医学教育の現場でもその影響は大きく、多くの大学で対面での講義が中止となりました。感染対策として弘前大学でもWEBを利用した遠隔授業を行う方針となりましたが、その授業コンテンツは我々講師がそれぞれ各自で作成することになりました。対面での講義は例年行っていました。講義は例年行っていました。講義は例年行っていました。講義は例年行っていました。

も附属病院の工事が始まった時期でしたのでその工事の音が予想以上に大きく、授業コンテンツとして耐え得るものではありませんでした。また、工事以外にも電話やドアの開く音など予想以上に生活音が入ってくるため、とうとう諦めて夜中に自宅で録音するようになりました。雑音はなくなり、それぞれ各自で作成することになりました。対面での講義は例年行っていました。講義は例年行っていました。講義は例年行っていました。

よ、ということが分かりやすく説明されておりました。普段に増して忙しい中でも、学生のために時間を割いてくださったことに感謝申し上げます。

Web上での臨床実習という前例のない状況ではありましたが、どんな状況でも自分を伸ばしていけるかどうかはその人の取り組み次第であることは間違いありません。来年度以降は研修医として現場で働くことになりませんが、この期間で学んだことを生かせるように励んでいきたいです。



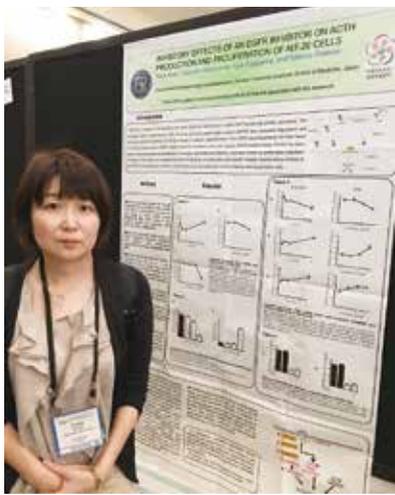


# 病理生命科学講座

病理生命科学講座 教授 鬼島 宏

(前ページより)  
 です。たとえば知人に専門をきかれて、「下垂体というホルモンを作る臓器だよ?」と説明してわかってもらえないことはほぼありません。「アドレナリンやステロイドって聞いたことない?」と言ってピンときてもらえることもなく、結局「専門は甲状腺です」と言えば多少は納得してもらえます。その一方、「副甲状腺」や「副腎」は知名度がゼロであり、日常会話を困難にします。私に限らず、親にすら自分の専門分野を伝えていないという内分泌内科医は少なからずいるようです。その点、時々「テレビで見た先端巨大症の人におばあちゃん似てる」とか、「親に眼が大きいからバセドウ眼症じゃないかと言われた」と当科をダイレクトに受診する患者様がおられ、感心してしまいます。発症して診断までに数年かかる患者様も少なくなく、疾患知名度の向上は当科の責任のひとつと考えております。

さきほど「よくわからない病気」や「ジェネラルな診療」に興味があると書きましたが、私だからこそこの専門を選んだのだと思います。糖尿病や脂質異常症も同様ですが、当科の診療は特定の臓器を専門と



17年国際下垂体シンポジウム(ホノルル)、18年国際神経内分泌学会(トロント)にてクッシング病の薬物治療について発表しました。コロナ禍の前に国際学会に行けたことは今思えば幸いです。

昭和二十四(一九四九)年に新制弘前大学医学部が設置されたのち、昭和二十六(一九五二)年に病理学第二(現・病理生命科学)講座を含む開設当初の十二講座(十基礎講座、十二臨床講座)が設置されました。白濁勇教授(任期一九五〇〜一九八一)が就任されていまして、今年が研究室開設七十周年にあたります。第二代工藤一教授(任期一九八一〜二〇〇三)までの主な業績は、前回研究室紹介(医学部HP掲載・医学部ウォーカー第七十二号)をご覧ください。

これまでこの「若手教員・医師だより」には明らかに中堅以上の(女性)医師が登場することが多く、私については本場に「若手教員・医師」ですので、内科全般のジェネラルな知識と、稀な疾患を診る専門性を高めるべく、日々研鑽中です。



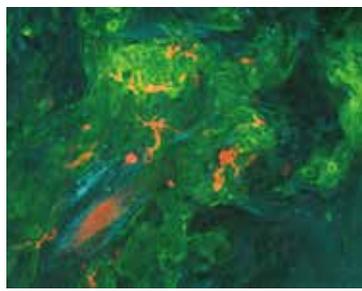
研究室開設七十周年を記念し研究の志を継承するために、基礎研究棟キャンパス北西角の大黒松小公園に「弘前肉腫 腫瘍医学への貢献」と記した記念石碑を設置しました(医学部ウォーカー第九十一号)。

このため、我々の講座は、令和三(二〇二二)年に講座開設七十周年を迎えます。講座開設に先立つ昭和二十五(一九五〇)年の講座開設許可をもって、初代 白濁勇教授(任期一九五〇〜一九八一)が就任されていまして、今年が研究室開設七十周年にあたります。第二代 工藤一教授(任期一九八一〜二〇〇三)までの主な業績は、前回研究室紹介(医学部HP掲載・医学部ウォーカー第七十二号)をご覧ください。



大星章一先生 在も頻繁に用いられている

上げたもう一人は、大星章一・新潟大学教授です。初代 白濁教授の下で、助教を務められ、国立がんセンター研究所第二組織病理研究室長を経て、新潟大学教授(任期一九七五〜一九七八)に就任されました。研究の焦点は弘前大学より継続・一貫してヒト癌細胞株の樹立とその生物学的特性の解明でした。また、化学療法・放射線療法の治療後における組織学的治療効果判定という概念を創出し、その評価法は「大星・下里



胆管癌 Tissue cleaning 画像

ことは、周知のことです。ここからは最近の講座の様子です。Evidence Creative Pathology (ECP: active Pathology (ECP: 医学部ウォーカー第七十二号)を掲げ、その後も胆道癌 EBMに不可欠な「胆道癌診療ガイドライン(二〇一九年)」および「胆道癌取扱い規約(二〇二〇年)」の改訂にも携わり、弘前発エビデンスを少なからず発信することが出来ました。吉澤忠司助教が、今年四月に米国 Johns Hopkins 大学留学から帰国し、後藤慎太郎助手・諸橋聡子客員研究員や大学院生と一丸となつ

皮膚科学講座は、一九四五年に杉山萬喜蔵先生を初代教授に迎えて皮膚科泌尿器科教室として創設され、以来、帷子康雄先生、橋本功先生、花田勝美先生が教授を歴任されました。二〇〇七年に澤村大輔先生が引き継がれ、現在に至ります。

当講座では、橋本功先生の時代から先天性表皮水疱症をはじめとする遺伝性疾患に対する研究に力を入れて参りました。花田勝美先生の時代には、光力学療法などの光医学も取り入れた診療、研究もしております。現在は、ポルフィリン症、角化症をはじめさまざまな遺伝性疾患に対する遺伝子変異検索を行っており、国内外から多くの検索依頼を引き受けております。また、水疱症や乾癬のモデルマウスを用いて、病態解明のための基礎研究も行っております。海外との研究交流も盛んで、二〇一六年から二年間、私が米国 University of Washington に留学し、紫外線発癌の研究を行いました。二〇一八年からは、赤坂英二郎先生がドイツ University of Freiburg に留学され、自己免疫水疱症の研究をして今年五月に帰国されました。

# 皮膚科学講座

皮膚科学講座 助教 六戸 大樹



診療面では、皮膚に変化を生じるあらゆる状態が対象となるため、皮膚感染症、アレルギー性疾患、自己免疫疾患、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、遺伝性疾患など、扱う疾患ジャンルが非常に多岐に渡ります。そのた

め、院内外のさまざまな診療科から貴重な症例を数多く紹介いただいております。その診療面でも、この十数年で大きな変化がありました。私が皮膚科学講座に加わった二〇〇三年に

て取り組み始めたのが、病理組織を透明化して、ヒト癌組織の発育形態(浸潤・脈管侵襲など)を三次元で解析する研究です。写真はヒト胆管癌組織で、細胞が緑、神経線維が赤、膠原線維が青で示され、癌細胞の複雑な発育進展が三次元で再現されています。癌組織の三次元構造解明は、これまで先進的研究ですが、形態学を極めるといふ病理学の王道を進む解析であり、今後の発展が期待されます。これからも、病理生命科学講座一同、元気に目標に向かって邁進してゆきます。

(次ページへ続く)

# 部活動紹介

## ラグビー部

ラグビー部代表 医学科二年 東 朗周

(前ページより)  
 は、入院患者の中にも乾癬、水疱症、アトピー性皮膚炎など腫瘍以外の疾患が多かったのですが、今では入院患者の九割ほどが皮膚腫瘍になっていきます。皮膚腫瘍患者数の増加に加え、手術や薬物療法などの大病院以外の皮膚科では対応が難しい診療技術が増えてきているためです。皮膚科

診療も刻々と変化してきており、重症アトピー性皮膚炎や乾癬、悪性黒色腫に対する新薬が続々と登場してきています。それらの恩恵で、以前は考えられなかったような予後改善とQOL向上が得られ、多くの患者さんに福音となつています。一方で、新薬による特殊な副作用の管理に追われるという事態も生じてお

り、副作用管理の点で多くの診療科にお世話になっております。各診療科、各診療部門のご協力がなければ当科の診療は成り立ちません。今後より一層、研究、診療の充実を目指して参ります。引き続きのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

はノースサイドの精神で相手チームのことを讃えます。この精神もラグビーの魅力の一つです。ラグビー部は部活としても、ラグビー競技としても人として成長することが出来ます。

最後に、この文章を読んだくれた新入生の方へ。部活動をまだ決めていない人はいつでもラグビー部を訪れてください。是非グラウンドでお会いしましょう。ラグビー部は皆さんを心よりお待ちしております。

弘前大学医学部ラグビー部第五十五代主将の東です。弘前大学医学部ラグビー部は創部五十五年の間に東医体八連覇(九九〇〇六、三連覇(一一一、一二二)、準優勝(一〇、一五、一九)、東北一部リーグ所属という輝かしい成績を誇る歴史と伝統ある部活であります。今年も東医体が中止となりましたが、秋に開催される東北一部リーグでは五試合ある中で三勝を目標にしています。我々ラグビー部は週に三回の練習と、東北一部リーグの他の強豪校と比べ練習時間は少ないですが、少ない時間の中で明るく楽しく中身の濃い練習をしています。そして、夏にはバーベキュー、冬にはスキー合宿など楽しいイベントも盛り沢山で、先輩と後輩の仲良さも魅力の一つです。また、降雪による長期のオフもあるの

で、自分自身の時間も十分にあります。部員は現在プレイヤー二十七名、マネージャー八名の計三十五名で活動しております。私自身ラグビーを始めたのは大学に入学してからであり、私のようにプレイヤーの約八割がラグビー未経験で入部しました。つまりはラグビーは大学から始めることのできる競技なのです。ここで、ラグビーの魅力を紹介いたします。ラグビーは十五人で行います。つまり、体の大きい人小さい人、足の速い人遅い人にはそれぞれ役割があります。それぞれが役割を果たすことで、「one team」となり勝利を目指します。また、試合後に



## 自転車競技部

自転車競技部代表 医学科三年 角 昂大

弘前大学医学部自転車競技部は平成二十六年に設立され、現在では男子二十名、女子六名が在籍している部活動です。活動は週一回、毎週土曜日に行われ、活動日以外にも学年の垣根を超えて部員同士で練習を行っています。シーズン中には岩木山や酸ヶ湯温泉周辺の山々を自転車に登り、自己研鑽に励んでいます。一方でオフ



シーズンは弘前市周辺の道の駅や観光地を目的地としたグルメリライドも行っており、自転車を楽しむことをモットーとして活動しています。毎年部として参加する大会は主に二つあります。一

つ目は岩木山スカイラインで開催される岩木山ヒルクライムです。六十数個の葛折りのあるコースをひたすら自転車です。二つ目は北海道のニセコで開催されるニセコクラシックです。七〇kmあるいは一四〇kmあるコースを走行します。北海道の雄大な自然の中を走るのとても気持ち良く、このレースで好成績を残すために日々の練習に励んでいます。

普段の練習ではロードバイクという高速走行に特化した自転車に乗っています。この自転車には変速機が搭載されています。より速く、軽やかに走るためには道の状態、斜度、風向きなど様々な環境の変化に応じてこのギアを変える必

要があります。そういった技術面で速さに大きな差が出るところが自転車競技の難しいところであり、魅力的なところでもあると考えております。また、自らの足でペダルを漕がなければ前へと進まないといった点も魅力の一つではないでしょうか。長く険しい山道を軽いギアを回して少しずつ登っていき、そして目的地に到着したその時、この上ない達成感を味わうことができます。



OB、OGの皆様にご場を借りてお礼申し上げます。今後とも自転車競技部をよろしくお願いたします。

### 写真コラム(9)

## 旧制弘前高校外国人教師館

脳血管病態学講座 教授 今泉 忠 淳

弘前大学の前身である旧制弘前高校は大正9年(1920年)に設置されました。文京町キャンパスの一角に、「旧制弘前高校外国人教師館」があります。この建物は、大正14年(1925年)に建てられたもので、平成17年には国の登録有形文化財に登録されています。以前は別の場所にあ



写真1. 移築前. 1989



写真2. 移築後. 2016

りました(写真1)。道路敷設のために取り壊しの危機に見舞われましたが、みちのく銀行様をはじめとした寄付金により、2004年に現在地に移築されました。弘前市内には、いくつもの貴重な洋館が残っていますが、この建物もその一つです。2016年からは、成田専蔵珈琲店に業務を委託して「弘大カフェ」となっています(写真2)。何かと気忙しい毎日ですが、文京町キャンパスへ行く機会がありましたら、「弘大カフェ」に立ち寄りてゆっくりと一杯の珈琲をいかがですか？

## 写真部

写真部代表 医学科四年 河村 知明



弘前大学医学部写真部(季写真展)のみであり、全員一堂に会することが稀なという大所帯で活動しています。正式な活動は、年二回の写真展(春季写真展、冬の技術が高い人、他の部活と兼部しながらもクオリティの高い作品を出す人、写真は趣味程度で他の活動に重きを置いてる人など様々です。部内では部として写真のレベルの低下を心配する声もあります。私はこの多様性、自由さこそが医学部写真部の魅力だと感じております。

現在、デジタルカメラやスマートフォンによる普及・技術進歩(次ページへ続く)

(前ページより)  
により銀塩カメラしかなかった時代に比べ、素人の写真のレベルが格段に上がっていると言われています。そんなデジタル主流の中、私たちの部活では銀塩カメラを主として作品作りを行っています。部室の隣には暗室があり、フィルムは暗室から印画紙への引き延ばしまで、すべて自らの手で行っています。銀塩カメラは撮った写真が現像されるまで確認できず、撮れる枚数もフィルムによって定められていて大変不便です。しかし、手間がかかる分、一枚のシャッターにかける熱量や作品に対する愛情が大きく感じられるのではないかと思います。また、近年は銀塩写真だけに拘ることなく、デジタル写真の作成環境も整備し、多様、多角的な作品作りを行っています。多くの部員は入部して初めて本格的にカメラに触れますが、経験を積むにつれて素晴らしい作品が増え、大変やりがいを感じられる環境だと感じます。

これから、銀塩写真の需要の低下に伴い、益々作品作りや活動が困難になるかと予想されますが、恵まれた環境を提供して下さっている大学や、OB・OGの先生方への感謝を忘れず、より良い作品を作っていきたいと考えております。今の事情によりしばらくの間写真展を開催することができませんが、もしご興味がございますしたら是非今後弘前文化センターで開催される写真展に足をお運びください。写真部一同、お待ちしております。



相乗温泉 (現在)

前回の温泉紀行⑨に引き続き羽州街道を矢立峠まで進みます。青森・秋田県境で白神山地東端に位置する矢立峠(二五八m)は、いにしえ境界を決めるために大杉に放った矢を立てたことに由来するそうです。伊能忠敬、吉田松陰、イザベラ・バードら数多くの歴史上の人物が足跡を残している矢立峠は、急勾配故に羽州街道・奥羽本線いずれの難所にもなっています。

**相乗温泉**(第百一湯：平川市碓ヶ関西碓ヶ関山：二十時迄)は、国道七号沿いで矢立峠の手前右側に位置しています。弘前から向かうと以前のレジャー施設が廃墟として残っており、一瞬引いてしまふ雰囲気がありますが、その奥に新しい施設が控えています。単純温泉と、通称「赤湯」と称されるナトリウム・塩化物泉の二つがあります。赤湯は温泉成分が酸化することで褐色調となることか

# 青森 あずまし 温泉紀行

26

鬼島 宏  
(病理生命科学講座・教授)

相乗温泉  
矢立峠温泉(大館市)  
久吉温泉  
唐竹温泉

ら露天風呂のみですが、単純温泉の露天風呂と交互に入ると云う極上の贅沢ができます。相乗温泉・津軽湯の沢駅間の国道脇には、奥羽本線旧線遺構が一部残されており、往年の交通難所が偲ばれます。



旧相乗温泉



奥羽本線旧線遺構

**矢立峠温泉**(県外第十八湯：秋田県大館市長走：二十時迄)は、国道七号県境を越えてすぐ道の駅矢立峠の大館矢立ハイウイの温泉です。鉄筋の建物の上



矢立峠温泉

階のため入口が少々分かりにくいのですが、矢立峠を展望できる露天風呂もあります。薄緑褐色のナトリウム・カルシウム塩化物泉で体はしっかりと温まります。

**久吉温泉**(第百一湯：平川市碓ヶ関久吉：四月下旬〜十一月上旬：十八時迄)は、久吉タムの奥で久吉温泉自然休暇村・たけのこの里の交流センター内にある温泉です。COVID-19の影響で二〇二〇年度休業。小さな内湯であるが、薄褐色のナトリウム・カルシウム・塩化物・硫酸塩泉がしっかりとかけ流されています。

**唐竹温泉**(第百三湯：平川市唐竹川原田：二十時迄)は、弘南鉄道平賀駅から南東に向かう国道二八二号沿いで、唐竹の街並の入り口あたりに位置しています。中央に湯船が配置され、石で作られた階段状の湯口から無色透明のさっぱりとしたナトリウム・カルシウム・塩化物・硫酸塩泉が大量に注がれています。

**第五十湯(板留)・第五十一湯(青荷)**の折り返しが黒石市でしたが、第百湯・第百一湯は平川市(旧碓ヶ関村)となりました。南津軽郡域には、節目に取上げられるような個性ある温泉が多い証です。

## 人事異動 (R2.6.1 ~ R2.8.31)

### ● 医学研究科所属

#### 【採用】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R2.6.1	QOL推進医学	助教	植村 望	医療法人岸谷整形外科クリニック
R2.8.1	整形外科科学講座	助手	MASON ALNOURI	タルハウジー大学 医学部外科 講師
R2.8.1	ウォーターヘルスサイエンス講座	助教	石田 水里	ウォーターヘルスサイエンス講座 技術補佐員

#### 【配置換】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R2.6.1	デジタルニュートリション学講座	助教	鄭 松伊	健康と美 医科学講座
R2.6.1	健康と美 医科学講座	助教	松原 博子	社会医学講座
R2.6.1	産科婦人科学講座	助手	小玉 都萌	産科婦人科 助手
R2.7.1	糖鎖工学講座	助教	米山 徹	先進移植再生医学講座 助教
R2.7.1	先進移植再生医学講座	講師	村上 礼一	脳卒中・血管内科学講座 講師
R2.8.1	地域救急医療学講座	助教	佐々木 規博	整形外科科学講座 助教

#### 【辞職】

発令日	所 属	職 名	氏 名	異 動 先 等
R2.7.31	地域救急医療学講座	助手	山内 翔平	整形外科 医員
R2.7.31	アクティブライフプロモーション学研究講座	助教	坂本 和貴	未定

### ● 附属病院所属

#### 【昇任】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R2.6.1	周産母子センター	講師	横田 恵	産科婦人科学講座 助教
R2.8.1	臨床試験管理センター	講師	岡本 哲平	泌尿器科学講座 助教

#### 【採用】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R2.7.1	内分泌内科・糖尿病代謝内科	助手	遅野井 祥	内分泌内科・糖尿病代謝内科 医員
R2.7.1	呼吸器外科、心臓血管外科	助手	栗山 章司	秋田大学

#### 【配置変更】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R2.6.1	産科婦人科	助教	淵之上 康平	周産母子センター 助教
R2.7.1	泌尿器科	講師	山本 勇人	臨床試験管理センター 講師

#### 【辞職】

発令日	所 属	職 名	氏 名	異 動 先 等
R2.6.30	内分泌内科・糖尿病代謝内科	助教	山形 聡	さっぽろ二十四軒病院
R2.6.30	耳鼻咽喉科	助教	三國谷 由貴	八戸市立市民病院
R2.8.31	消化器外科、乳癌外科、甲状腺外科	助教	鍵谷 卓司	沖縄県立八重山病院

## 診療教授等新規称号付与者 (R2.6 ~ R2.8)

称 号	氏 名	所 属	期 間
診療教授	中村 典雄	腎臓内科	令和2年7月1日~令和5年6月30日

## 編集後記

季節が消えた。満開の桜で春が香り、ねぶた囃子で夏を踊る。新型コロナウイルスはこれまでの日常一切を奪い取った。未知の感染症と戦うにはルールを愚直に守るしかない。寄稿で萱場教授が書いていた。感染制御は百点満点をとって合格である、と。

学生生活や学生教育も例外ではなかった。待っていたものは自粛生活であった。それにしても学生は忍耐強いと思う。WEB講義の良さを受け入れ足りないものは補うため工夫する。人間として成長していく過程が学生だよりの寄稿から読み取れる。人間捨てたものじゃない。教官側の学生教育のあり方も薄氷の思いで進んでいたことが寄稿から見える。コロナ禍にあっても学生教育を敢行する重い決断が垣間見える。使命と責任。教官側のプライドである。

人生の絶頂であるはずの入学式がなくなった。切磋琢磨した成果を競う東医体がなくなくなった。学術集会が縮小延期された。研究材料が手に入りづらくなった。感染防御の材料が一時底をついた。学生も職員も教官も二〇二〇年は特別な年として記憶するだろう。あとで読み返してあの時代はこうだったのか、自分たちはこう思っていたのか、自分たちはウォーカーに留める医学部

(横山 記)

